

議案第 号

宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成
の公営に関する条例及び宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙における選
挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例

宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に關する
条例及び宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公營に
關する条例の一部を改正する条例を次のとおり制定するものとする。

令和7年（2025年）9月2日提出

宝塚市長 森 臨太郎

宝塚市条例第 号

宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成
の公営に関する条例及び宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙における選
挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例

（宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に關
する条例の一部改正）

第1条 宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公營
に關する条例（平成6年条例第4号）の一部を次のように改正する。

第4条中「541円31銭」を「586円88銭」に改める。

（宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公營に關する
条例の一部改正）

第2条 宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公營に關
する条例（平成19年条例第37号）の一部を次のように改正する。

第4条中「7円73銭」を「8円38銭」に改め、「得た金額」の次に「（1円未満
の端数がある場合には、その端数は、1円とする。）」を加える。

第5条中「7円73銭」を「8円38銭」に改める。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、公布の日から施行する。

（経過措置）

2. 第1条の規定による改正後の宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の規定及び第2条の規定による改正後の宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後その期日を告示される宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙について適用し、施行日の前日までにその期日を告示された宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙については、なお従前の例による。

議案第 号

宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について
宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例
(平成6年条例第4号)新旧対照表(第1条による改正関係)

現行	改正案
(公費の支払) 第4条 宝塚市は、候補者(前条の規定による届出をした者に限る。)が同条の契約に基づき当該契約の相手方であるポスターの作成を業とする者に支払うべき金額のうち、当該契約に基づき作成された選挙運動用ポスターの1枚当たりの作成単価(当該作成単価が、<u>541円31銭</u>に当該選挙が行われる区域におけるポスター掲示場の数を乗じて得た金額に316,250円を加えた金額を当該選挙が行われる区域におけるポスター掲示場の数で除して得た金額(1円未満の端数がある場合には、その端数は、1円とする。以下「単価の限度額」という。)を超える場合には、当該単価の限度額)に当該選挙運動用ポスターの作成枚数(当該候補者を通じて当該選挙が行われる区域におけるポスター掲示場の数に相当する数の範囲内のものであることにつき、委員会が定めるところにより、当該候補者からの申請に基づき、委員会が確認したものに限る。)を乗じて得た金額を、第2条ただし書に規定する要件に該当する場合に限り、当該ポスターの作成を業とする者からの請求に基づき、当該ポスターの作成を業とする者に対し支払う。	(公費の支払) 第4条 宝塚市は、候補者(前条の規定による届出をした者に限る。)が同条の契約に基づき当該契約の相手方であるポスターの作成を業とする者に支払うべき金額のうち、当該契約に基づき作成された選挙運動用ポスターの1枚当たりの作成単価(当該作成単価が、<u>586円88銭</u>に当該選挙が行われる区域におけるポスター掲示場の数を乗じて得た金額に316,250円を加えた金額を当該選挙が行われる区域におけるポスター掲示場の数で除して得た金額(1円未満の端数がある場合には、その端数は、1円とする。以下「単価の限度額」という。)を超える場合には、当該単価の限度額)に当該選挙運動用ポスターの作成枚数(当該候補者を通じて当該選挙が行われる区域におけるポスター掲示場の数に相当する数の範囲内のものであることにつき、委員会が定めるところにより、当該候補者からの申請に基づき、委員会が確認したものに限る。)を乗じて得た金額を、第2条ただし書に規定する要件に該当する場合に限り、当該ポスターの作成を業とする者からの請求に基づき、当該ポスターの作成を業とする者に対し支払う。

宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例(平成19年条例第37号)新旧対照表(第2条による改正関係)

現行	改正案
(公費の支払) 第4条 宝塚市は、候補者(前条の規定による届出をした者に限る。)が同条の契約に基づき当該契約の相手方であるビラの作成を業とする者に支払うべき金額のうち、当該契約に基づき作成された選挙運動用ビラの1枚当たりの作成単価(当該作成単価が7円73銭を超える場合には、<u>7円73銭</u>)に当該選挙運動用ビラの作成枚数(当該候補者を通じて、法第142条第1項第6号に定める枚数の範囲内のものであることにつき、委員会が定めるところにより、当該候補者からの申請に基づき、委員会が確認したものに限る。)を乗じて得た金額 を、第2条ただし書に規定する要件に該当する場合に限り、当該ビラの作成を業とする者からの請求に基づき、当該ビラの作成を業とする者に対し支払う。 (公費負担の限度額) 第5条 第2条の規定により選挙運動用ビラを作成する場合の公費負担の限度額は、候補者1人について、<u>7円73銭</u>に選挙運動用ビラの作成枚数(当該作成枚数が法第142条第1項第6号に定める枚数を超える場合には、同号に定める枚数)を乗じて得た金額とする。	(公費の支払) 第4条 宝塚市は、候補者(前条の規定による届出をした者に限る。)が同条の契約に基づき当該契約の相手方であるビラの作成を業とする者に支払うべき金額のうち、当該契約に基づき作成された選挙運動用ビラの1枚当たりの作成単価(当該作成単価が8円38銭を超える場合には、<u>8円38銭</u>)に当該選挙運動用ビラの作成枚数(当該候補者を通じて、法第142条第1項第6号に定める枚数の範囲内のものであることにつき、委員会が定めるところにより、当該候補者からの申請に基づき、委員会が確認したものに限る。)を乗じて得た金額(<u>1円未満の端数がある場合には、その端数は、1円とする。</u>)を、第2条ただし書に規定する要件に該当する場合に限り、当該ビラの作成を業とする者からの請求に基づき、当該ビラの作成を業とする者に対し支払う。 (公費負担の限度額) 第5条 第2条の規定により選挙運動用ビラを作成する場合の公費負担の限度額は、候補者1人について、<u>8円38銭</u>に選挙運動用ビラの作成枚数(当該作成枚数が法第142条第1項第6号に定める枚数を超える場合には、同号に定める枚数)を乗じて得た金額とする。

各 都 道 府 県 知 事
各都道府県選挙管理委員会委員長
各 指 定 都 市 市 長
各指定都市選挙管理委員会委員長

} 殿

総 務 大 臣

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律等の施行について（通知）

第 217 回国会において成立をみた国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律（以下「改正法」という。）は、令和 7 年法律第 50 号をもって、本日公布されました。

また、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律施行令の一部を改正する政令（以下「改正基準令」という。）は、令和 7 年政令第 87 号をもって、令和 7 年 3 月 28 日に、公職選挙法施行令の一部を改正する政令（以下「改正公選令」という。）及び公職選挙法施行規則の一部を改正する省令（以下「改正規則」という。）が、それぞれ令和 7 年政令第 200 号及び令和 7 年総務省令第 57 号をもって、本日、それぞれ公布されました。

今回の国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律（昭和 25 年法律第 179 号）の改正は、最近における物価の変動等を考慮し、選挙等の円滑な執行を図るため、国会議員の選挙等の執行について国が負担する経費で地方公共団体に交付するものの基準を改定することを、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律施行令（平成 19 年政令第 122 号）の改正は、公務員給与における地域手当の改定等を踏まえ、国会議員の選挙等に係る投票所経費等の額の加算を行う地域及び割合を改めることを、それぞれ目的として行われました。

また、今回の公職選挙法施行令（昭和 25 年政令第 89 号）及び公職選挙法施行規則（昭和 25 年総理府令第 13 号）の改正は、最近における物価の変動等に鑑み、衆議院

議員及び参議院議員の選挙における選挙運動に関し、選挙運動用通常葉書等の作成の公営に要する経費に係る限度額の引き上げを目的として行われました。

貴職におかれましては、今回の施行に係る改正法、改正基準令、改正公選令及び改正規則の内容を十分御理解されるとともに、改正法による改正後の国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律（以下「新基準法」という。）及び改正基準令による改正後の国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律施行令（以下「新基準令」という。）並びに改正公選令による改正後の公職選挙法施行令（以下「新公選令」という。）及び改正規則による改正後の公職選挙法施行規則（以下「新規則」という。）の運用に遺漏のないよう、また、新基準法により算定される選挙執行経費の基準額は、通常の場合において国が負担する限度額となるものであるため、各選挙管理委員会においては、事務の合理化に努め、その範囲内の経費で選挙の管理執行を行うよう、下記事項に御留意の上、貴都道府県内の市町村長及び市町村の選挙管理委員会に対しても、格別の御配慮をお願いします。

記

第1 国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律及び同法施行令の一部改正

1 国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正

最近における物価の変動、選挙等の執行状況等を踏まえ、選挙長等の費用弁償額が次のとおり引き上げられたほか、投票所経費、開票所経費、事務費等の基準額が改定されたこと。（新基準法第4条から第9条まで、第13条から第15条まで及び第17条関係）

区分	改正単価	現行単価
選挙長	12,200 円	10,800 円
投票所の投票管理者	14,500 円	12,800 円
期日前投票所の投票管理者	12,800 円	11,300 円
開票管理者	12,200 円	10,800 円
投票所の投票立会人	12,400 円	10,900 円
期日前投票所の投票立会人	10,900 円	9,600 円
開票立会人	10,100 円	8,900 円
選挙立会人	10,100 円	8,900 円

2 国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律施行令の一部改正

- (1) 国会議員の選挙等に係る投票所経費等の額の加算を行う地域及び割合を改めること。（改正基準令本則関係）
- (2) 地域手当の支給地域及び支給割合について、一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律（令和 6 年法律第 72 号）附則第 7 条第 1 項の規定により、令和 10 年 3 月 31 日までの期間は経過措置がとられることを踏まえ、同期間は新基準令においても同様の経過措置をとるものとされたこと。（改正基準令附則第 2 条関係）

3 施行期日等

- (1) 改正法は、公布の日から施行するものとされたこと。（改正法附則第 1 条関係）
- (2) 新基準法の規定（新基準法第 13 条の 3 の規定を除く。）は、改正法の施行の日（以下「施行日」という。）以後その期日を公示され又は告示される国会議員の選挙、最高裁判所裁判官国民審査又は日本国憲法第 95 条の規定による投票について適用するものとされたこと。（改正法附則第 2 条第 1 項関係）
- (3) 新基準法第 13 条の 3 の規定は、公職選挙法第 30 条の 3 第 1 項に規定する申請の時の属する日（同法第 30 条の 2 第 3 項に規定する在外選挙人名簿への登録の移転の申請（以下「在外選挙人名簿への登録の移転の申請」という。）にあつては、同法第 30 条の 5 第 4 項の規定による申請の日）が施行日以後である在外選挙人名簿の登録の申請又は在外選挙人名簿への登録の移転の申請について適用するものとされたこと。（改正法附則第 2 条第 2 項関係）

第 2 公職選挙法施行令及び公職選挙法施行規則の一部改正

1 公職選挙法施行令の一部改正

(1) 選挙公営限度額の引上げ

衆議院議員及び参議院議員の選挙における選挙運動に関し、選挙運動用通常葉書等の作成の公営に要する経費に係る限度額が次のとおり引き上げられたこと。

ア 選挙運動用通常葉書の作成の公営（新公選令第 109 条の 7 関係）

区分	改正単価	現行単価
35,000 枚以下の場合 1 枚当たり	8 円 62 銭	7 円 95 銭

35,000 枚を超える場合 1 枚当たり	7 円 46 銭	6 円 88 銭
-----------------------	----------	----------

イ 選挙運動用ビラの作成の公営（新公選令第 109 条の 8 関係）

区分	改正単価	現行単価
50,000 枚以下の場合 1 枚当たり	8 円 38 銭	7 円 73 銭
50,000 枚を超える場合 1 枚当たり	5 円 62 銭	5 円 18 銭

ウ 選挙事務所の立札及び看板の類の作成の公営（新公選令第 110 条の 2 関係）

区分	改正単価	現行単価
1 枚当たり	61,379 円	56,613 円

エ 選挙運動用自動車等の立札及び看板の類の作成の公営（新公選令第 110 条の 3 関係）

区分	改正単価	現行単価
1 枚当たり	58,114 円	53,601 円

オ 選挙運動用ポスターの作成の公営（新公選令第 110 条の 4 関係）

① 衆議院小選挙区選出議員又は参議院選挙区選出議員の選挙の場合

区分		改正単価	現行単価
印刷費	選挙区のポスター掲示場の数が 500 以下の場合 1 枚当たり	586 円 88 銭	541 円 31 銭
	選挙区のポスター掲示場の数が 500 を超える場合 1 枚当たり	30 円 73 銭	28 円 35 銭

② 参議院比例代表選出議員の選挙の場合

区分	改正単価	現行単価
1 枚当たり	40 円	37 円

カ 個人演説会場の立札及び看板の類の作成の公営（新公選令第 125 条の 3 関係）

区分	改正単価	現行単価
1 枚当たり	44,403 円	40,954 円

キ 参議院比例代表選出議員の選挙の一部無効による再選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営（新公選令第132条の3の2関係）

区分	改正単価	現行単価
1枚当たり	40円＋ $\frac{219,540 \text{ 円}}{\text{法定上限枚数}}$	37円＋ $\frac{202,490 \text{ 円}}{\text{法定上限枚数}}$

2 公職選挙法施行規則の一部改正

公職選挙法施行令の一部改正に伴う諸様式の改正が行われたこと。

3 施行期日等

(1) 改正公選令及び改正規則は、公布の日から施行するものとされたこと。（改正公選令附則第1項及び改正規則附則第1項関係）

(2) 新公選令及び新規則の規定は、改正公選令及び改正規則の施行の日以後その期日を公示され又は告示される選挙について適用するものとされたこと。（改正公選令附則第2項及び改正規則附則第2項関係）

以上

令和7年（2025年）7月28日

第5回都市経営会議資料

宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙に
おける選挙運動用ポスターの作成の公営
に関する条例等の一部改正について
（概要）

選挙管理委員会事務局

1 経緯等

公職選挙法施行令の一部を改正する政令が令和7年6月4日に施行されたことに伴い、関連する宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例など2条例について、同政令の改正に準拠し、規定の一部を改正するもの。

2 改正内容

選挙公営限度額の引上げ

- (1) 選挙運動用ビラの作成の公営（新公選令第109条の8関係）
1枚当たり （現行） 7 円 73 銭 （改正） 8 円 38 銭
- (2) 選挙運動用ポスターの作成の公営（新公選令第110条の4関係）
1枚当たり （現行） 541 円 31 銭 （改正） 586 円 88 銭



3 改正に伴う影響

**(1) 宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙における選挙運動用
ポスターの作成の公営に関する条例**

1枚当たり (現行) 541 円 31 銭 (改正) 586 円 88 銭

**(2) 宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙における選挙運動用
ビラの作成の公営に関する条例**

1枚当たり (現行) 7 円 73 銭 (改正) 8 円 38 銭

4 施行期日

この条例は、公布の日から施行する。

経過措置として、この条例の施行日以後、その期日を告示される宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙について適用し、施行日の前日までに告示された宝塚市議会の議員及び宝塚市長の選挙については、なお従前の例による。